

SkyLink ユーザーマネージャ セットアップチェックシート

システム導入・クライアント展開作業用チェックリスト

本チェックシートは、SkyLink ユーザーマネージャを確実に導入・展開するための作業管理用ドキュメントです。各作業フェーズの担当者は、手順に沿って設定を実施し、完了後にチェックマークを記入してください。

フェーズ 1：構成設定ファイル（.sud）の作成

管理者権限でデータベース接続設定、ユーザーアカウント、権限、およびエイリアス（表示名）の設定を行い、構成設定ファイル（.sud）を書き出します。

完了	作業手順・確認項目	設定値 / 備考
☐	ユーザーマネージャアプリケーションを起動する。 ※初回起動時は「ユーザー情報の新規作成」で設定した管理者 ID・パスワードを厳重に管理すること。	管理者 ID: パスワード:
☐	データソースを新規作成し、データベース接続情報を入力する。 (Oracle, NEC RDB, 富士通 Symfoware, IBM DB2, ODBC 対応 DB, SQL Server 等から選択)	接続先 DB 種別: 接続ユーザー名:
☐	必要に応じて、「最大検索レコード数」（検索高負荷対策）を設定する。（0 で無制限）	最大レコード数: [] 件
☐	自動接続を有効にするか選択する。 ※オンにする場合はドメインインポートユーザーである必要がある。	[] 有効 / [] 無効
☐	ログインユーザーの新規登録（手動登録、CSV 一括インポート、ドメイン/サーバーからのインポート等）を行う。	登録ユーザー数: [] 名
☐	ユーザーをデータソースに追加し、各ユーザーのデータベース権限（更新、挿入、削除）やセキュリティ（自由検索の禁止、SQL 文	[] 更新 [] 挿入 [] 削除 [] 自由検索禁止

	直接編集の禁止など）を設定する。	[] SQL 直接編集禁止
☐	必要に応じてエイリアス（表名・列名の日本語別名表示、非表示設定、DECODE/選択リスト置換など）を作成し、データソースに適用する。	適用エイリアス名: _____
☐	設定内容を排他ロックがかかっていないことを確認し、構成設定ファイル（拡張子 .sud）として保存する。	保存ファイル名: _____.sud

フェーズ 2 : サーバーへの配置とアクセス権設定

作成した.sud ファイルを、クライアント端末が一元的にアクセスできるようにネットワーク共有サーバー上に配置し、適切なアクセス権を付与します。

完了	作業手順・確認項目	設定値 / 備考
☐	作成した.sud ファイルを、サーバー上の任意の共有フォルダに配置する。	配置フォルダ: _____
☐	SkyLink ユーザー（クライアント端末）に、配置された共有フォルダの「読み取り可能」なアクセス権限を付与する。	[] 読み取り権限付与
☐	SkyLink for Web を使用する場合、IIS_USR（または IIS 実行アカウント）にフォルダ・ファイルの読み取り権限を付与する。	[] IIS_USR 読取権限
☐	設定ファイル（.sud）が他の管理アプリケーション等にかかれておらず、排他ロックがかかっていない状態を確保する。	[] ロック解除確認済み

フェーズ 3 : サーバーでの適用ツール実行

サーバー側で「ユーザーマネージャ適用ツール（サービス定義プログラム）」を管理者として起動し、配置した.sud ファイルを適用サービスに紐付けます。

完了	作業手順・確認項目	設定値 / 備考
☐	サーバー上で「ユーザーマネージャ適用ツール」を「管理者として実行」で起動する。	[] 管理者として起動
☐	適用ツールダイアログで「ユーザーマネージャ管理」の「使用する」ラジオボタンを選択する。	[] 「使用する」選択
☐	「公開ファイル名」に、共有フォルダ内の.sud ファイルを UNC パス（¥¥サーバー名¥共有フォルダ名¥ファイル名.sud）で指定する。 ※各クライアントから確実に参照できるパスであることを確認すること。	UNC パス: ¥¥ _____ _____ _____
☐	（任意）クライアントの接続ログや SQL 発行ログを取得する場合は、「ログを管理する」をオンにし、サーバーローカルの出力フォルダを指定する。 ※出力先はネットワーク共有パスである必要はありません。	ログ出力先フォルダ: _____ [] ログ ON / [] OFF
☐	[OK] ボタンを押下し、 「サービスの再起動を行います。よろしいですか？」 に対して [はい] を選択して適用サービスを再起動する。	[] サービス再起動完了

フェーズ 4 : クライアント端末への適用設定

クライアント端末が起動時にサーバー上の適用サービスを参照するように、レジストリ情報（通常版）または構成ファイル（for Web 版）の設定を行います。

完了	作業手順・確認項目	設定値 / 備考
☐	【通常版】クライアント PC のレジストリエディタ（regedit.exe）を管理者権限で起動する。	[] レジストリエディタ起動
☐	【通常版】以下のキーに展開する： HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥EAST¥SkyLink	[] キーの展開確認
☐	【通常版】文字列値（REG_SZ）として「ManagingServer」キーを新規作成する。	[] ManagingServer 作成
☐	【通常版】「ManagingServer」のデータ値として、適用ツールサービスが動作しているサーバー名を入力する。	サーバー名： _____
☐	【for Web 版】CONFIG フォルダ内の「setup.xml」をメモ帳等のテキストエディタで開く。	[] setup.xml オープン
☐	【for Web 版】タグ内に適用サービス稼動サーバー名を記述する： <ManagingServer>サーバー名</ManagingServer>	Web 用サーバー名： _____
☐	【for Web 版】setup.xml の変更を保存後、IIS の再起動を実施する。	[] IIS 再起動完了

動作確認とトラブルシューティング

セットアップ完了後、クライアント端末から SkyLink を起動した際、接続ダイアログが「データソース」を選択する専用のコンボボックス画面に切り替わっていることを確認します。

接続できない場合や画面が切り替わらない場合は、以下のトラブルシューティングフローを確認してください。

確認項目	トラブルシューティング確認内容	結果確認
クライアント レジストリ	・レジストリキー「ManagingServer」のスペルは正しいか？ ・「WOW6432Node¥EAST¥SkyLink」の正しい位置に文字列値として登録されているか？	☐ OK ☐ N/A
サーバー適用 サービス	・「ManagingServer」で指定したサーバー名と、適用ツールを起動した物理サーバー名は一致しているか？ ・適用ツールを実行する際、確実に「管理者として実行」で起動したか？ ・適用サービス登録時、「サービスの再起動を行いますか？」に「はい」を選択してサービスを再起動したか？ ・サーバーとクライアント端末間でネットワークの疎通は可能か？	☐ OK ☐ N/A
設定ファイル (.sud)	・適用ツールで公開ファイル名として指定した.sud ファイルのパスは、各クライアントからアクセス可能な共有パス（UNC パス）になっているか？ ・.sud ファイルおよび共有フォルダに対し、ユーザーの読み取り権限（SkyLink for Web の場合は IIS_USR）が適切に設定されているか？ ・.sud ファイルが他の管理ソフト等でロック（排他使用）されていないか？	☐ OK ☐ N/A